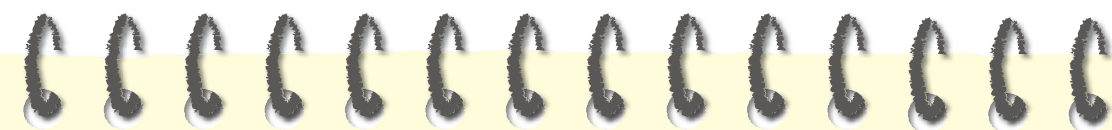




脳梗塞になって12年、右半身不随で暗い日々でしたがスマイル（短時間通所リハビリ）に通いはじめてから、スタッフの方の励ましで、左手で絵を再び描きはじめることができました。元気なころに山が好きで印象に残っている山々の写真から選んでみました。平野さんのご好意で応募させていただきましたが、採用のお知らせは望外の喜びです。これからもがんばります。どうもありがとうございました。（奥村信之）

多くの趣味をおもちだった奥村さんが、すべてをあきらめてリハ中心の生活を10年余りも過ごされていたと知ったのはつい最近です。ささいなきっかけと少しの工夫で始めた水彩画でしたが、回数を重ねるごとにその絵は鮮やかになっています。“絵を描く”という作業が、奥村さんらしさを取り戻していくきっかけとなったことに、多くを学ぶことができました。（担当 OT：平野 彩）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



竹重恵子「ハッピークリスマス」

私は二度、脳出血になり両手足に麻痺があります。昨年からリハを兼ねて指で絵を描いています。OTさんに手を添えてもらいながら二人三脚で製作しています。描き終えたあとは、すごく疲れますが完成したときはとても嬉しいです。この作品は今まで描いた作品の中で一番好きです。クリスマスの楽しい雰囲気を思い浮かべながら描きました。また、苺を親指で押して描く方法に挑戦し、とても大変でした。麻痺があるけど絵を描くのが楽しくなりました。これからも何事もがんばっていきたいです。（代筆：担当 OT 菊池）